



萩原珈琲ジャーナル

2020 winter

TAKE FREE

有休消化

休めないという「口癖」から、
休みたいと思える仕組みへ。

休めない?休まない?どちらでしょう?付与日数に対する消化日数の割合で手当を支給しています。手当は、有休+3,000/日。60%以上は、付与日数に対し満額支給されています。部署内で公平に消化できるルールを策定し、実施しています。結果、2019~20年の全社消化率は70%と高水準となっています。

人口減少勃発

これからも売り上げは上がるのか?

2008年をピークに日本の人口は減少に転じており、人口減少時代を迎えています。30年後の2050年には総人口が1億人を切ると言われている時代。

消費者が減っていく時代に、売り上げ目標が妥当なのか?変化に対応するために、**減収増益**を目指した「労働生産性」を目標としました。

労働生産性目標

売り上げ目標やめます。

これからは「労働生産性」を目標に掲げます。労働生産性とは、総売り上げ÷全社員の総労働時間のことです。そのため、業務効率の「見える化」をすすめました。社員の労働に対する意識改革を起こさせ、売り上げを伸ばし、労働時間を削りました。

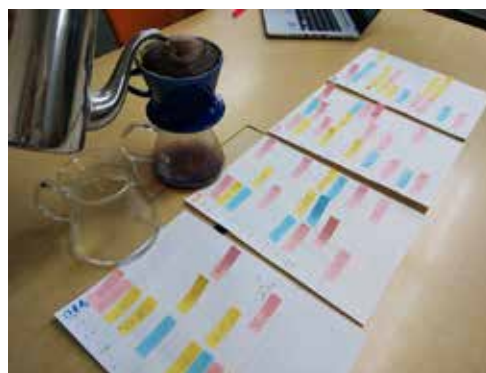
減収増益の時代がやってきました。そのため、**目指すべきものを明確にすることが大切**と考えています。

残業ゼロ

会社のための改革。結果として社員に時間が生まれます。

労働時間の短縮=自分の時間の創造となります。

ルール作りは、社員間や部署間で決める自由なスタイル。付箋を使用した「業務パズル」を活用します。まずはやってみて「微調整」。成果は「特別賞与」で評価します。現在は、残業時間が一人当たり「ひと月で約20分」に減少しました。



子育て世代の労働モデル

有休消化+残業ゼロ

子育て世代の働きやすい環境に応じた社員旅行を企画しました。社員研修旅行は「家族参加」日帰りに変更。そして家族やパートナーの参加もOKに。変更後、記念すべき初年度は43人参加しました。(ちなみにその時の社員数は26人でした。)そして全員合同イベントのバブルサッカーを加えました。夏のバブルサッカーは暑くて熱い戦いに!おおいに盛り上がりました。



社員の企画会議で決定

ワークショップ

商品づくりや販売方法に「遊び心」

社員が決める「企画商品」「販売方法」を採用することにより、固定概念や主観性の払拭に挑んでいます。大切にしているのは「遊び心」「客観性への誘導」「奇想天外な発想の許容」。自分たちで決めれば「売る気も満々に」。真面目に遊ぶ企画会議へ。

社員でつくる労働モデル



萩原珈琲ジャーナル

直営店の取り組み
Initiatives of directly
managed stores

2020 winter

TAKE FREE



こんな市役所、目指しませんか？

カフェから新しい市役所ロビーの活用を。

子育て出来る。食育できる。

親子で絵本。

地元食材を食べている時間。

神戸のどこで採れた野菜？

楽しい？ 週末も？

もはや市役所？

週末絵本カフェ

週末ブックカフェ+子育て応援
=週末絵本カフェ

市役所や東遊園地に親子で絵本
をみにきませんか？



特典は併用できます。



週末ブックカフェ

週末を市役所で過ごそう。

土日に本を持参すると特典が。



KOBE 子育て応援団

いいね！神戸で子育て。

お子様連れ、マタニティの方に特
典あり。市役所ロビーにおむつがえ
シートや授乳室もあるよ！

地産地消にこだわった 地元産食材やフルーツ を召し上がれ

127番地サンド

神戸市役所サンド

地元産で口いっぱい！

とことん「地産地消」こだわった
神戸市役所ならではのサンドウイ
ッチ。かじった途端、逃げられない。
すべての食材を地元でこだわ
り、野菜・豚肉・ソース・パンを神
戸産に限定。卵も兵庫県産。か
じった食材を塗り絵で楽しむ。食
べた物がどこで作られたかが分
かる食育サンド。



127番地サンド vol.2 神戸下町サンド

神戸の下町×下町名物のコラボサンド。

長田名物、牛すじぼっかけ。王子公
園、プリンセスソース。下町×下町の
コラボサンド。もちろん野菜も神戸市
産。食べたサンドを塗り絵で楽しむ。
神戸市役所ならではの食育サンド。



地産地消デザート

神戸も果物とれるんです。

神戸の食を発信する。桃・梨・柿・いちじく
・イチゴ…市役所だから季節ごとの地元
産フルーツにこだわる。神戸市、JA他、地
元企業ともコラボ。

